



# 同好会ひろば

第287号  
R3. 7. 1  
No.2


**第1回授業づくり講座**      6月4日（金）Zoom開催

今年度も、「すぐに使える」「実際の授業をイメージできる」という点に重きを置き、「授業づくり講座」を開催します。第1回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、6月4日（金）に、Zoomで開催しました。80名を超えるたくさんの先生方にご参加いただきました。

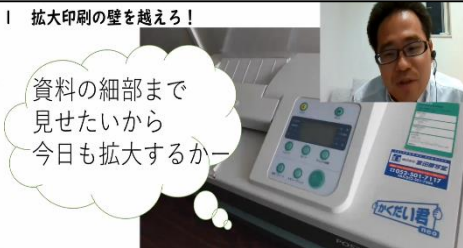


【小学校】講師 比良西小 大西 大介 先生  
テーマ「使ってみよう!やってみよう!タブレット!～社会科編～」

名古屋市で使用されているタブレットの中にあるアプリの中でも「ロイロノート」に焦点を当てて「社会科の壁」を越える授業づくりについての紹介がありました。ロイロノートを授業の中で、どのように活用していくとよいのかを学ぶことができました。



- 1 拡大印刷の壁を越えろ! カメラ機能を活用!
- 2 リンク集の壁を越えろ! Webカード機能を活用!
- 3 ノート回収の壁を越えろ! 提出箱機能を活用!
- 4 大量の付箋紙の壁を越えろ! シンキングツールを活用!
- 5 クラスの壁を越えろ! 授業参加コードを活用!

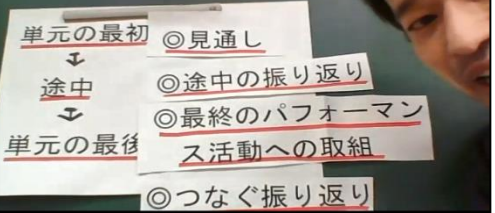


【中学校】講師 沢上中 矢吹 隆 先生  
テーマ「『主体的に取り組む態度』ってどう評価する?!」

主体的に取り組む態度を社会科の授業の中で、どのように評価していくとよいのかについて紹介がありました。「とらえる段階」「考える段階」「認め合う段階」「つなぐ段階」のそれぞれの段階での評価の仕方について分かりやすく学ぶことができました。

「一枚ポータルフォリオ」を活用する  
…1枚の紙で、見直し、毎時間の振り返り、途中の振り返り、(課題へのパフォーマンス活動)を書かせ、生徒自らが考えの変わりや成長に気付ける

3 シーン別の主体の評価について  
(1) 時間数が足りないのでは?  
ア 教科書の内容を詰め込む  
イ 話し合いやレポートをやめる  
ウ 内容によって軽重をつける



今後の授業づくり講座は、以下のように進めていく予定です。ぜひご参加ください。

回	開催日	講師
2	9月15日(水)	原口 昭教先生(野並小学校) 布藤 勇先生(久方中学校)
3	1月25日(火)	南 勇希先生(鳴子小学校) 久々野 将広先生(志段味中学校)

## 【第287号 紙面】

第1回授業づくり講座について・・・・・・・・・・・・・・・・・・(p1)  
 若手躍動～授業力アップ研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・(p2)  
 子ども輝く社会科授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・(p3)  
 『日々雑感』北山中学校 関 真輔先生・・・・・・・・・・(p4)  
 今後の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・(p4)

## 若手躍動～授業力アップ研修

本年度も、6年目までの若手会員を対象に、社会科を中心に様々な授業や教師としての力量向上を目指して、授業力アップ研修を行っていきます。

授業力アップ研修では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からZoomや少人数で授業実践について検討したり、教材について研究したりしていきます。また、日頃の悩みについて共有し、様々な話題を基に話し合いを行っていきます。会員同士であるからこそ、縦と横のつながりを大切にしながら、日々研鑽を積んでいきます。そして、優れた教材研究をしている先生方が数多くいる社会科同好会であるからこそ、積極的に仲間同士で声を掛けたり、魅力的な教材を共有したりしながら、教材研究の仕方について学ぶことができるようにしていきます。

### 授業力アップ研修グループ（小学校）

グループ	役割	区	学校名	氏名
小A	リーダー	西	比良西小	大西 大介
		西	比良西小	中村 翔
		北	金城小	堀田 拡和
		北	楠小	渡邊 丈芳
		中村	ほのか小	川畑 裕史
	事務局	守山	小幡小	川瀬 祐介

グループ	役割	区	学校名	氏名
小D	リーダー	港	小碓小	水谷 公一
		港	小碓小	高崎 幹也
		昭和	吹上小	田中 陽哉
		中川	昭和橋小	山口 恭平
		熱田	旗屋小	鬼頭 隆之介
		港	小碓小	安保 順平
	事務局	中川	広見小	八神 輝久

グループ	役割	区	学校名	氏名
小B	リーダー	昭和	白金小	加藤 理恵
		中川	八幡小	玉代勢 万智香
		天白	八事東小	松井 愛
		瑞穂	陽明小	牧 はるか
		緑	鳴海東部小	津田 悠希
		緑	常安小	齋田 裕香
		熱田	大宝小	内木 邑
	事務局	緑	浦里小	三上 信

グループ	役割	区	学校名	氏名
小E	リーダー	天白	野並小	原口 昭教
		瑞穂	陽明小	大口 諒
		天白	植田東小	鈴木 寛規
		熱田	白鳥小	神谷 陽太
		瑞穂	陽明小	近藤 徹
	事務局	熱田	大宝小	森山 勇二

グループ	役割	区	学校名	氏名
小C	リーダー	緑	鳴子小	南 勇希
		緑	熊の前小	近藤 文博
		中川	露橋小	吉川 武蔵
		中	橘小	荒木 隆寛
		天白	原小	熊澤 祐貴
		瑞穂	豊岡小	水野 涼介
	事務局	昭和	松栄小	下村 康大

グループ	役割	区	学校名	氏名
小F	リーダー	名東	平和が丘小	小池 良亮
		守山	志段味西小	高橋 一陽
		守山	白沢小	森 洋晴
		名東	高針小	和島 良太
		瑞穂	豊岡小	澤田 啓太
		昭和	松栄小	田中 雅人
	事務局	北	楠小	岡田 健吾

中学校の授業力アップの研修グループについても、同好会ひろばでお知らせしていきます。今後も、授業力アップ研修グループの様子を同好会ひろばで随時お知らせしていきます。



# 子ども輝く社会科授業

魅力あふれる教材を開発し、子どもが輝く社会科授業。

そのような授業を日々積み重ねておられる会員の先生方の実践を紹介します。



## やりたい・気になるという気持ちを行動や言葉で表す児童の育成

陽明小学校 牧 はるか先生

「2時間目、社会やる！」と学習に積極的な発言をしたのは、学級に在籍するたった一人の児童である（以下A児）。私は特別支援学級の担任をしている。以前のA児は言われたことを黙々とこなす、言わば受け身な状態であり、もともと発語が少ないのもあるが、冒頭のような発言をすることはなかった。

A児の実態で、「わたしたちのきょうど」は難しい。ならば、単元とA児の好きなもの（電車）を結び付けてはどうか。名古屋市白地図に路線図を書き、調べるまちを‘目的地’とし、家の最寄り駅からそこまで電車を走らせた。実際のまちの様子を映像で見ると興味が湧くのではないか。グーグルのストリートビューと3Dマップを活用した。A児は視覚優位だが、情報量が多いと、注意が散漫になり、必要な情報を見付け出せない。まちを大まかな種類（ビル、店、森、家、工場）に分類し、それぞれのイラストをカードにして、グーグルの地図を見ながら‘目的地’はどのイラストに当てはまるかカードを選び白地図に貼った。自信をもって取り組めることが、「やりたい・気になる」につながるのではないか。電車を動かす→‘目的地’のまちの様子を確認→名古屋市白地図に貼る、を繰り返した。通常の学級では間延びすると思うが、繰り返しはA児にとって授業の流れ・見るポイントがわかり自信になる→わかるからやりたい→他のまちの様子も気になる、と私は考えた。

「次は〇〇駅です！」と楽しそうに授業に取り組むA児。特別支援学級でも社会科を学習する意義・価値を見いだせた瞬間だった。

## 学んだ知識を生かし、よりよい社会を考えることのできる社会科学習

神丘中学校 伊藤慎二先生

この実践では、中国・四国地方を中心とした過疎問題と豊田市稲武地区の過疎問題を教材化した。そして、中国・四国地方で成果を上げている過疎対策から過疎対策を成功させる要因を導き、そこで考えた「成功のカギ」を踏まえ、稲武の過疎対策を考えることで、生徒に社会科で学んだ知識が、世の中の問題解決に役立つことを実感させようとした。

過疎対策成功の要因を探る段階では、ジグソーメソッドを用いて、それぞれが調べた過疎対策について交流し、その共通点を探し、過疎対策の「成功のカギ」を導き出し、学級全体で共有した。共通点を探す際には、自然や産業等、考える視点を与えて、共通点を見付けやすいように工夫した。その後、稲武の過疎対策を考える段階では、自分たちの見付け出した「成功のカギ」をどのくらい生かしているのか、レーダーチャートを使いながら評価し合い、よりよい過疎対策を考えた。ある生徒は、稲武の特産品である米や林業を生かした新たな商品開発を提案することができた。

実践後のアンケートでは、「社会科で学んだ知識を世の中で起きている問題に生かすことができた」と答える生徒が増加し、ねらいを達成することができた。今後も社会科の学習で学んだ知識を生かせるような実践を行い、生徒に世の中で起きている問題の解決に役立つことを実感させていきたい。

## 『日々雑感』

### 北山中学校 関 真輔 先生

「雑感」・・・辞書で調べたら、意味は「とりとめのない感想」とあったので、今思っていること、感じていることを、とりとめなく書かせていただきます。若い先生方への文章になってしまいますが・・・。

今、振り返ると、初任校では、毎日学ぶことばかりで、先輩方に迷惑を掛けたり、ご指導を受けたりしたことを思い出します。社会科同好会に入会したのは、2年目で、この時期に、授業のことや学級経営のことなど、多くのことを学び、たくさんの社会科の先生方との出会いがあったことを覚えています。2校目へ異動すると、部活動の後、毎日夜遅くまで、生徒のことや授業のことなどを、楽しく仲間と語り合っていたことが思い出されます。社会科同好会でも、この時期には、研修会や部会、レポートなど、様々な経験をさせていただきました。入会していなければ、できなかったことばかりです。その頃は、一日が非常に長く感じましたが、中身が濃く、今よりは体力もあったため毎日が充実していたことを覚えています。同好会に入っている若手の先生方には、一度きりの教師人生、是非いろいろなことにチャレンジしてほしいと願っています。同好会には、困ったときに頼れる仲間や何でも知っている先輩方がたくさんいます。人と人の横のつながりをどんどん広げてほしいです。

話は変わりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、この約1年半で、世界の常識や生活が大きく変わりました。予測できなかったことが起こり、ここまで続くとこれからの世の中の変化に適応していく「生きる力」が必要となってきます。

この4月から中学校では新学習指導要領が始まり、評価の観点が新しく3観点となったり、タブレットが配布されたり、身の回りの環境が大きく変わろうとしています。自分にも言い聞かせていますが、これからは、これまで以上に柔軟な発想で、今までの考え方にとらわれず、職務を全うしていけるといいと思います。

### ～今後の予定～

- 7月16日(金) 19:00～ ステップアップ研修全体会 (Zoom開催)
- 7月27日(火) 19:00～ 小・中部会 (Zoom開催)
- 9月7日(火) 19:00～ 小・中部会 (Zoom開催)
- 9月15日(水) 19:00～ 授業づくり講座 (Zoom開催)
- 11月17日(水) 19:00～ 懇親会

(11月懇親会については、新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では、中止の可能性があります。開催有無につきましては、9月に詳細を改めてお知らせします。)

※ 今年度のフィールドワークは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、推進部員を中心とした少人数でのフィールドワークとして実施します。